

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公開番号】特開 2005-87592 (P2005-87592A)
 【公開日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-014
 【出願番号】特願 2003-327473 (P2003-327473)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B	6/03	3 2 1 L
A 6 1 B	6/03	3 2 1 Q
A 6 1 B	6/03	3 5 0 P

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 8 日 (2006.3.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

検査対象に照射する X 線を発生する X 線管と、前記検査対象に関する計測データを検出する X 線検出器と、前記検査対象に対する前記 X 線管および前記 X 線検出器の相対位置を変化させる回転装置と、前記計測データの演算処理を行う処理装置とを有し、前記 X 線検出器を前記 X 線管が描く回転面の接線方向に、回転面に平行な方向における前記 X 線検出器の長さの半分よりも小さい距離だけ移動させて配置し、かつ、前記処理装置において、前記計測データに対数変換処理を行い投影データを得る処理と、前記投影データの値に重みを乗算する処理と、前記重みを乗算したデータを用いて再構成処理を行い再構成データを得る処理とを行って、3 次元再構成像を得るように構成したことを特徴とする X 線計測装置。

【請求項 2】

検査対象に照射する X 線を発生する X 線管と、前記検査対象に関する計測データを検出する X 線検出器と、前記検査対象に対する前記 X 線管および前記 X 線検出器の相対位置を変化させる回転装置と、前記計測データの演算処理を行う処理装置とを有し、前記 X 線検出器を前記 X 線管が描く回転面の接線方向に、回転面に平行な方向における前記 X 線検出器の長さの半分よりも小さい距離だけ移動させて配置し、かつ、前記処理装置において、前記計測データの値に重みの指数変換値を乗算する処理と、前記重みを乗算したデータに対数変換処理を行い投影データを得る処理と、前記投影データを用いて再構成処理を行い再構成データを得る処理とを行って、3 次元再構成像を得るように構成したことを特徴とする X 線計測装置。